

## 泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当科における転移性尿路上皮癌の治療成績

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 篠原 信雄 （泌尿器科・准教授）

### [研究の目的]

転移性尿路上皮癌に対する導入化学療法として Cisplatin-Base 化学療法(M-VAC, MEC)は標準的治療とされていますが、これらの化学療法では治療の効果は高いものの、その効果持続期間が十分ではなく救済療法（他に何らかの治療）が必要となっているのが現状です。当科では 2000 年以降、救済療法として PIN 療法（Paclitaxel, Ifosphamide, Nedaplatin）を導入しており、この救済療法が予後の改善に寄与したかを後ろ向きに検討するため。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

転移を有する尿路上皮癌の患者さんで、1988-2008 の間に、全身化学療法が施行された方。

#### ●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、診断名、最終診察日、身体所見、既往歴、合併症、治療内容、臨床検査データ、CT 画像、シンチグラフィ画像、病理組織を含む手術関連情報。

### [個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目  
北海道大学病院泌尿器科 担当医師 丸 晋太郎  
電話 011-706-5966 FAX 011-706-7853